

**資料 45-4**

科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
ISS・国際宇宙探査小委員会  
(第45回)

**宇宙開発利用部会  
国際宇宙ステーション・国際宇宙小委員会(第45回)**

**三井物産の民間宇宙ステーション事業概要**



**MITSUI & CO.**

2022年1月19日

三井物産株式会社 モビリティ第二本部 輸送機械第四部 宇宙事業開発室

# 弊社民間宇宙ステーション事業概要

## 【取組方針】

宇宙ステーションの事業主体が「官」から「民」へ移る中、本邦民間事業者として地球低軌道の「場」を確保することで、本邦宇宙産業の発展、地上産業の課題解決・イノベーション創出に貢献する。

## 【取組意義】

- ① 日本実験棟「きぼう」の運用を通じ蓄積してきた知見・ノウハウ、技術力、人材の継承
- ② 地球低軌道に於ける技術実証の機会及び日本人宇宙飛行士の受入拠点の確保
- ③ アジア唯一のISS参加国としての国際プレゼンスの維持
- ④ 民間企業の参画による地球低軌道に於ける商業利用の活性化

## 【取組状況】

- 米国民間宇宙ステーション開発事業者Axiom Space, Inc.との資本提携
- 商業需要の創出を目的とした弊社グローバルネットワークを活用した営業活動
- 民間へのシームレスな移行に向けた運用・技術知見の獲得

# 民間へのシームレスな移行に向けた検討課題

- 民間事業者候補への知見・ノウハウ・技術移転の時間の確保
- 本邦として日本実験棟「きぼう」退役後の地球低軌道への関与方法に関する議論
- 民間アイデアの具現化に向けた対応
- 商業利用の創出に向けた各種課題（運用、コスト、リソース等）の解決
- 官民一体となった連携体制の構築・強化



2025年以降を民間への移行期間と位置づけた上で、地球低軌道の有人拠点であるISS/日本実験棟「きぼう」の運用が2030年迄延長され、上記課題の解決に向け、産官学が密に連携することが望ましいと考える。

## ご参考) 弊社事業パートナー Axiom Space, Inc ご紹介



- 設立年 : 2016年
- 従業員数 : 約340名 (複数のNASA ISSプログラム従事者、及び宇宙飛行士5名在籍)
- 事業概要 : 民間ステーション開発事業、宇宙飛行士の送客事業
- 本社所在地 : 米国テキサス州 ヒューストン
- 特記事項 :

✓ Axiomは2020年に、NASAとISS米国実験棟に接続する民間居住モジュール開発に係る契約を140百万米ドルで締結済み。NASAに民間宇宙ステーション事業者候補として既に選定されている為、CLDプログラムには参加していない。尚、AxiomはISS米国実験棟に民間居住モジュールを接続できる唯一の民間企業。

✓ 民間宇宙ステーションの開発に於いて、ISSの技術を最大限使用することで開発費用を抑え、且つ、開発リスクを最大限軽減。タレス社に発注済みの2基のモジュールも順調に開発が進んでいる状況。

✓ 民間宇宙飛行士の送客事業にも注力。ISSに向かう初の民間有人ミッション(Ax-1 mission)を2022年前半に控えている。加えて、軌道上製造に関する市場創出・顧客開拓に注力中。

(ご参考) Axiom Stationの軌道上組立工程に関するイメージ動画

<https://www.axiomspace.com/axiom-station/assembly-sequence>

360° business innovation.



MITSUI & CO.